

27B 日帰り旅行サークル 〈令和2年の活動〉

【令和2年10月30日】

幹事：第2班（野澤班長）

◆「紅葉の奥只見湖遊覧船と清津峡」の日帰り旅行へ行ってきましたよ♥

日帰り旅行サークルは、令和2年10月30日（金）参加者10名（女性6名、男性4名）でくれよんの「紅葉の奥只見湖遊覧船と清津峡」ツアーに参加しました。V(^-^)V



<旅程>

新潟B. C (7:15) - 新潟駅南口 (7:30) - 巻潟東・燕三条駅 - <関越道> - 清津峡★(紅葉見学) - 南魚沼(名物へぎそばと天ぷらのご昼食) - <奥只見シルバーライン> - 奥只見 - <奥只見湖遊覧船乗船★・約40分> - 银山平 - 魚沼(ショッピング) - <関越道> - <各乗車地> - 新潟各地(19:00~20:30)

[ツアーポイント]

- ◆名物へぎそばの昼食と、奥只見の絶景を満喫♪
- ◆GoTo トラベル事業支援対象でお得に！ 15,300円 ⇒ 10,000円
そして、県内日帰り旅行商品キャンペーンの3,000円キャッシュバック。
更に、2,000円のプレミアム商品券が付いているのです。
従って、今回の旅行代金は、5,000円ということですね（笑）。
- ◆バスの座席は、ソーシャルディスタンス確保でWシートを一人でゆったりと！
- ◆徹底した感染防止対策
 - ・旅行客の体調確認、検温確認、マスク着用
 - ・乗客人数の制限、バス車内の換気の徹底、バス乗車時の都度手指消毒



10月30日 旅行当日の新潟の気温は15度/9度と、寒気を伴った気圧の谷が通過するため、これまででは最低気温で降雨予報。目的地の魚沼方面は、11度/7度と寒く雨模様のちょっぴり残念な天候。それでもお天気に期待し、ワクワクウキウキと新潟交通バスセンターで、我々グループ4名が集まった。

バスセンター出発前に、GoToの恩恵として、3,000円のキャッシュバックとGoToトラベル利用客に向けた2,000円の地域共通クーポン券まで添乗員から渡された。キャッシュバックは上限に達し次第終了となるので、支給されラッキー！

バスの座席は、ソーシャルディスタンス確保で一人2席のため2台となり添乗員が同行した。

バス1台に21名ずつ乗車し計42名という。

感染防止に向けた注意事項として、検温・体調管理、マスク着用、バス車内では過度の飲酒と大声での会話を控え、食事中的会話も控えるようお願いがあった。今年の秋の旅行はコロナ禍のため開催を心配していたが、これだけ感染対策が徹底していれば安心。

AM7:15にバスセンターをスタートした「くれよんバス」は、新潟駅南口で5名、さらに巻潟東駐車場から最後の1名が乗り込み、参加者総勢10名、他の乗客と合わせて42名で、いざ、最初の目的地、清津峡を目指し<関越道>を快適に走りました。

車内では女性達が配給用のお菓子を必死に分けていたが、自然と話しは弾んでしまう。

まあ、大声でないから多少は大目に…。バスは、最初の目的地の**清津峡**へ。

【清津峡をちょっと紹介しよう(^_^)/~】

清津峡は、信濃川の支流である清津川が形成した峡谷。新潟県十日町市小出から湯沢町八木沢にかけての全長約12.5キロメートルをいう。観光のために全長750メートルの歩行者用の「清津峡渓谷トンネル」が掘られており、柱状節理による険しい岩肌の渓谷美と秋の紅葉で知られる。昭和63年の落石以来、閉鎖されていた清津峡渓谷。

雄大な清津峡の大自然を安全に安心して鑑賞していただけるよう、1996年10月に全長750mの「清津峡渓谷トンネル」が誕生。さらに、2018年の大地の芸術祭に合わせて、中国出身の芸術家マ・ヤンソンの作品「トンネル オブ ライト」としてリニューアルしたことから来場者数が激増。

清津峡では時折、青空が覗くお天気で紅葉が映えます。

清津峡の美しい風景を見るため、そして水面に反転した峡谷の風景の一部になってポーズをとり、写真を撮影するため、清津峡渓谷トンネルには連日続々と人が訪れている。3ヶ所の見晴所からは、素晴らしい峡谷美を堪能することができる。

特に、終点のパノラマステーションでは、鏡状に改修され（壁はステンレス板貼りで、床面には沢の水を湛えている）峡谷の景色を水鏡で反転させた幻想的なアート空間が広がる。

第2展望台には、カプセルのようなトイレが鎮座。

外から見るとメタリックな素材で覆われており、まるで宇宙船のような存在感だ。



「清津峡渓谷トンネル」を楽しんだ後は、昼食会場の「塩沢そば処田畑屋」へ。



絶品へぎ蕎麦

やや緑がかった名物『へぎそば』のその独特のコシと食感がたまらない。地の物の山菜天ぷらも人気。へぎそば、天ぷら、香の物、サラダ、茶碗蒸しで 1200 円くらいですが、(^♪ ポリューム感が凄いですね！！思いのほか美味しくて、びっくり。

お蕎麦の風味と喉ごしはもちろんです、海老 なす、かぼちゃ、大葉と様々な種類の天ぷらを楽しむことができました。大変おいしかったです(^♪

さすがに蕎麦も天ぷらも量が多かったのか 食べきれない方も・・・^^；



名物『へぎそば』を堪能した後は、奥只見湖を目指し、奥只見シルバーラインへ。

奥只見シルバーライン

奥只見湖へのアクセス道路となる奥只見シルバーラインは、その資材運搬用道路として建設された「トンネル道路」。19 のトンネルが続き、全長 22km のうち 18km がトンネルという、国内でもまれな道路。ゴツゴツした岩肌の壁面は往時の姿をいまだ残し、「一度は通ってみたい道路」とも言われているとか。狭く薄暗いトンネルを通っていると不気味で不安に駆られますが、18km のトンネルを洞窟探検の気分で走行。対向車は少ないが、擦れ違いには緊張する。

最後の長いトンネルを抜けると雄大な奥只見湖が目の前に広がるが、しかし、そこは生憎の雨、しかも大降り。

【奥只見シルバーラインと奥只見ダムをちょっと紹介しよう(^_^)/~】

奥只見ダムを作るために、その資材運搬専用道路として建設された奥只見シルバーライン（昭和 29 年着工、昭和 32 年完成）。新潟県側から入る全長 22km のルートで、そのうちの 18km は合計 19 のトンネルが連なる。かつて周辺が銀山であったため「シルバーライン」と名付けられた。

【奥只見ダム】 半世紀以上前の 1960 年(昭和 35 年)に完成

高さ 157m、全長 480m の直線重力式コンクリートダム。同形式のダムでは日本一の高さを誇る。奥只見湖は奥只見ダムによって形成される人造湖で江戸時代には銀が採掘されていたことから、別名「銀山湖」とも呼ばれている。面積は約 11.5km²（東京都千代田区とほぼ同じ）、貯水量は約 6 億 m³、富山県の黒部ダムの約 3 倍になり、阿賀野川水系只見川に作られた発電所の出力は一般水力では国内最大の 56 万 kW（約 18 万世帯の生活電力に相当）を発電する。

発電された電気は約 75% が東京電力に、25% が東北電力に売電されます。

バスは奥只見シルバーラインを抜け、奥只見駐車場に到着。

駐車場より遊覧船乗船口付近のダムサイドまで、車椅子でも利用できる「スロープカー」がある。
(片道/大人：100円、所要時間：約4分)。

ほぼ同じ時間で歩いても行けるが、大降りの雨が意欲を失わせる。結局、徒歩自力組は、添乗員、ガイドさんと1名の乗客の4人のみで他の皆さんは他力本願。

スロープカーを降車後、遊覧船乗船口付近のダムサイドへ。
少し小降りになったがさすが湖にて寒い。
超極暖ヒートテックを着てきて正解だった。



【奥只見湖遊覧船】

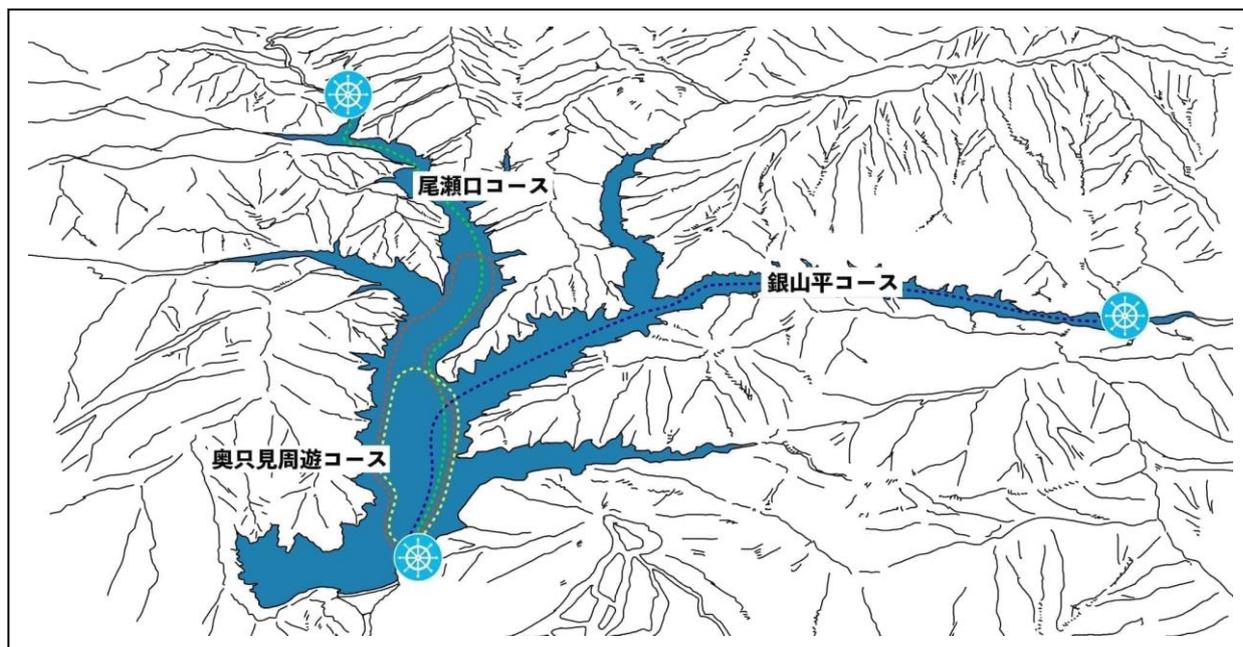
紅葉最盛期には、団体予約が取れないほど人気の奥只見湖遊覧船。

3つのコース（奥只見周遊コース、銀山平コース、尾瀬口コース）のうち、銀山平コースに乗船。
奥只見発 ⇒ 銀山平へ、約40分の乗船。

ソーシャルディスタンスのため3人掛け椅子が2名に制限されたため、立ち席が数名。

紅葉を楽しむにはデッキに出るべきだが、寒くて…。

雨天であったが、紅葉した周辺の山々は美しく、遠くは白化粧。終点の銀山平では、サルのお出迎えしてくれ、女性陣は大喜び。



約40分の乗船後、終着地 銀山平で回送されたバスに乗り込む。

16時前だが秋の山間部の夕暮れは早く、少し薄暗くなってきた銀山平ともお別れし帰路へ。
帰路の途中でショッピングのため(プレミアム商品券2,000円を使うため)、魚沼にある「道の駅ゆのたに」内の「深雪の里」に寄る。

お土産は、「深雪の里」

「地域共通クーポン券2,000円」は新潟でも使える店があるというが、当日限りの使用のため、皆さん使うことに必死。

しかし、つつい買い過ぎてしまう。



ここ「深雪の里」は、地元の特産品が揃った物産館で地元魚沼産コシヒカリはもちろん、季節限定、本数限定の米どころ魚沼の美味しい地酒や農家やお菓子屋が直接持ってきてくれるお米やお菓子など色々発見があって面白いお店です。

2,000円のお買物も無事に終わり落ち着いた所で、もうすっかり日も落ちた駐車場へ。

復路もまた関越道を通り、各乗車地経由で帰路です。巻潟東で同志1名が降車、新潟駅南で5名下車し、終点万代シティは19:20頃の到着でした。

GoToトラベルで楽しいひと時を過ごしました！

コロナ禍の秋の旅行は、第2班主催の「紅葉の奥只見湖遊覧船と清津峡」ツアーを堪能。

雨の奥只見湖観光となりましたが、紅葉真っ盛りの清津峡そして奥只見湖の美しさに、参加した10名の会員は楽しく充実した一日を過ごさせていただき、良き旅の思い出となりました。

これだから「日帰り旅行はやめられない！！」。

幹事の第2班の皆さまありがとうございました。

そして参加いただいた会員の皆さんお疲れ様でした♥。

秋の旅行はコロナ禍のため開催を心配しておりましたが、立ち寄り先は手指消毒など感染防止対策が徹底され、気を付けながら旅行を楽しむという新しい旅行スタイルであったため、安心して楽しむことができました。

GoToでどこも一気に混雑。奥只見も清津峡も休日は観光客で一杯というが、平日であったためか、比較的空いていてスムーズ観光・行動できました。

末筆ながら、会員皆さま、どうぞ、これからも自らの感染予防に留意され、ご健康でお元気で毎日をお過ごしくださいませ。

次回の春の旅行幹事は、第3班（秋山班長）となります。

その前に、新年会兼総会（幹事：第1班 金子班長）が開催されるので、また大勢の皆さまのご参加をお待ち致しております。

それまで、ご機嫌よう ♥ (^_^)~。

以上